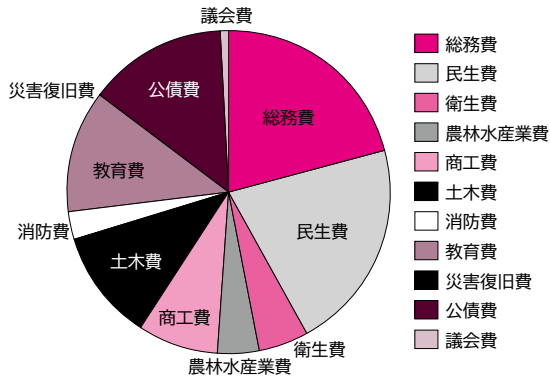


H22年度 歳出総額 499億6977万円(一般会計)

◎目的別歳出状況

総務費は国府支所庁舎新築などで増大したものです。その他では民生費が突出して大きく、今後も増加することが予想されます。



目的別	金額
総務費	10,544,706
民生費	10,519,782
衛生費	2,441,257
農林水産業費	2,127,008
商工費	4,050,477
土木費	5,482,204
消防費	1,431,941
教育費	6,073,896
災害復旧費	16,643
公債費	6,923,068
議会費	358,788

◎目的別歳出状況経年比較

やはり民生費の構成比が大きくなっています。平成20年のリーマンショック以後、商工費の構成が大きくなっています。

	H17	H18	H19	H20	H21	H22
総務費	12,760,675	10,421,749	6,928,845	9,010,349	8,099,605	10,544,706
民生費	8,824,212	8,599,289	8,904,331	8,952,698	9,457,063	10,519,782
衛生費	2,444,695	2,439,425	2,345,306	2,279,843	2,654,181	2,441,257
農林水産業費	2,528,115	3,307,209	2,344,676	3,654,986	2,396,569	2,127,008
商工費	2,228,446	2,269,634	2,188,797	2,948,348	3,880,574	4,050,477
土木費	6,652,209	6,357,983	7,379,039	8,406,095	6,321,309	5,482,204
消防費	1,830,852	1,444,449	1,378,171	1,495,855	1,393,570	1,431,941
教育費	4,185,749	4,265,576	4,936,494	4,695,905	4,451,634	6,073,896
災害復旧費	2,523,812	1,203,179	1,974,315	18,345	63,276	16,643
公債費	7,321,460	7,237,464	7,923,401	8,011,590	7,369,971	6,923,068
議会費	365,866	360,015	364,633	376,421	369,230	358,788
合計	51,666,091	47,905,972	46,668,008	49,850,435	46,456,982	49,969,770

【問】職員の人件費を検討して、増大する行政需要に対応してゆく考えは。
 【答】国でも公務員の処遇等に関し法律改正の動きがある。その動向により対応して行く。

【問】つごいの広場(子育て支援事業)は市内に11箇所あるが、地域間格差がある。常設している地域と週2回程度開設の地域があるが、状況はどうか。
 【答】一之宮・高根・国府・栃尾の各地域には常設していない。それぞれの地域で子育て支援のサービスが利用できるよう、常設を目指すべきだと考える。

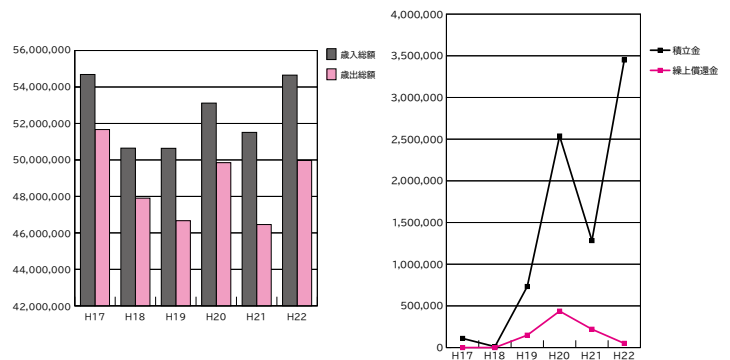
【問】療育施設の利用者が増えている。対応できるのか。
 【答】手狭になってきている。
 【問】解消法は。
 【答】検討中。
 【問】障がい児支援窓口のようなものを設置し、利用者の情報交換を図れないか。
 【答】共通認識は大切。機会を増やす努力をしたい。

【問】飛騨高山展予算
 【答】飛騨高山展の取得や報奨金等での対応が今後も必要だ。
 【問】農作物への鳥獣害対策は十分だったか。
 【答】狩猟免許の取得や報奨金等での対応が今後も必要だ。
 【問】プレミアム商品の効果は。
 【答】20億円の消費拡大効果はあったと認識。
 【問】新分野開拓支援補助金(産学官連携等促進事業補助金)の利用実績がないが。
 【答】申請がなかった。使いやすい制度に向けて、今後検討する。
 【問】市の中小企業向け制度融資は不用額が大きい。監査委員の指摘にもあるが、他の政策経費へ配慮も必要であり、対応すべきでは。
 【答】過年度の実績等で予算を組んだ。指摘の点は、景気動向も勘案して今後検討する。

【問】橋りょう耐震補
 【答】橋長15m以上の172橋の中から16橋を抽出し、7橋の耐震化工事を行った。
 【問】除雪機購入の助
 【答】そのようなことはなかった。

◎歳入歳出経年比較

積立金と繰上償還金が増えています。国の臨時特例措置で、高金利の公的資金の繰上償還がしやすくなりました。



年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22
歳入総額	54,686,077	50,647,160	50,637,631	53,117,059	51,511,005	54,650,964
歳出総額	51,666,091	47,905,972	46,668,008	49,850,435	46,456,982	49,969,770
歳入歳出差し引き額	3,019,986	2,741,188	3,969,623	3,266,624	5,054,023	4,681,194
翌年度へ繰り越すべき財産	321,994	352,197	1,197,715	316,791	2,132,872	1,392,468
実費収支	2,697,992	2,388,991	2,771,908	2,949,833	2,921,151	3,288,726
積立金(財源)	109,729	11,281	732,584	2,537,387	1,283,577	3,449,849
繰上償還金	0	0	148,426	436,967	219,808	50,634